

平成 24 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 カ イ ゲ ン
代 表 者 名 取 締 役 社 長 岩 塚 英 文
(コード番号 8000 大証第二部)
問 合 せ 先 経 理 部 長 和 田 直
(TEL. 06-6202-8972)

(数値データ追加) 平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

当社は、平成 24 年 2 月 6 日 14 時 00 分に発表いたしました表記開示資料につきまして、添付しなかった数値データを追加送信いたします。

なお、平成 24 年 2 月 6 日に開示いたしました表記開示資料を改めて添付いたしておりますが、内容に変更はございません。

以 上



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 カイゲン

コード番号 8000 URL <http://www.kaigen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩塚 英文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和田 直

TEL 06-6202-8972

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,675	△2.6	399	△16.3	434	△17.5	196	△29.0
23年3月期第3四半期	7,882	△3.9	477	1.1	527	2.3	277	△0.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第3四半期	22.02	—	
23年3月期第3四半期	30.99	—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,419		8,392			67.6
23年3月期	11,973		8,264			69.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,392百万円 23年3月期 8,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—		
24年3月期(予想)				4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△1.2	300	△12.4	330	△16.3	170	△6.8	19.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」を御覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	9,099,303 株	23年3月期	9,099,303 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	155,533 株	23年3月期	155,333 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,943,882 株	23年3月期3Q	8,945,824 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表等	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響に加え、米国の景気回復の遅れや欧州の通貨危機等により、今後の見通しの厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社は安定した経営基盤の確立とブランド認知度の向上、新商品開発に注力し、市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は7,675百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は399百万円（前年同四半期比16.3%減）、経常利益は434百万円（前年同四半期比17.5%減）、四半期純利益は196百万円（前年同四半期比29.0%減）となりました。

事業別の業績は次の通りであります。

①医療用医薬品事業

医療用医薬品は、主力の消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬「アルロイドG」が後発品推進施策や震災の影響により大幅に減少しましたが、後発品の消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬「ランソプラゾールOD錠」、高血圧症治療薬「アムロジピン錠」においては新規取引先の開拓により伸長しました。

診断用薬のバリウムと発泡剤につきましては、内視鏡検査への移行による精密検査数や注腸検査数の減少に震災の影響も加わったために減少しました。

医療機器は、内視鏡洗浄消毒器「クリーントップWM-S II」の売上が順調に推移し、付帯する機器定期点検契約数も増加しました。さらには機器関連消耗品の販売促進等も進んだこともあり伸長しました。

この結果、売上高は5,741百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

②ヘルスケア事業

一般用医薬品は、営業方針である重点量販企業との取り組み強化を図り、各企業とのタイアップ企画を推進してきましたが、OTC市場全体の消費低迷が続くなか、当社商品群も企業限定販売品を含め対前年比を下回りました。主力商品の「改源」は未開拓地区への新規開拓により前年並みの数字を確保しましたが、総合感冒薬群全体としては減少しました。

健康食品は、震災の影響による全国的な消費の冷え込みが続いており、売上は大幅に減少しました。また、新商品及び新規OEM商品につきましては、震災の影響を受け上市が予定より大幅に遅れたことにより、当初の売上目標に達せず減少分をカバーするには至りませんでした。

この結果、売上高は1,933百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は12,419百万円（前事業年度末11,973百万円）となり、前事業年度末に比べ446百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

また、負債は4,026百万円（前事業年度末3,708百万円）となり、前事業年度末に比べ318百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金の増加及び退職一時金制度の一部について確定拠出型年金制度へ移行したことによる退職給付引当金の減少によるものであります。

純資産については、8,392百万円（前事業年度末8,264百万円）となり、前事業年度末に比べ128百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払いによる減少であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表時（平成23年5月12日）に想定した予想に沿った業績で推移しておりますので、修正しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,168,022	3,932,771
受取手形及び売掛金	4,057,656	4,792,986
商品及び製品	592,754	538,423
原材料及び貯蔵品	73,147	64,481
その他	116,731	126,302
貸倒引当金	△9,000	△10,000
流動資産合計	8,999,312	9,444,965
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,785,941	1,788,141
その他(純額)	603,290	607,030
有形固定資産合計	2,389,231	2,395,172
無形固定資産		
投資その他の資産	59,662	50,724
その他	533,208	532,663
貸倒引当金	△8,214	△4,136
投資その他の資産合計	524,993	528,527
固定資産合計	2,973,887	2,974,424
資産合計	11,973,200	12,419,389
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,128,136	2,564,761
未払法人税等	102,140	157,101
賞与引当金	165,000	84,500
その他の引当金	41,712	56,982
その他	588,620	600,691
流動負債合計	3,025,610	3,464,036
固定負債		
退職給付引当金	611,512	488,100
その他の引当金	25,905	27,967
その他	45,852	46,846
固定負債合計	683,269	562,914
負債合計	3,708,880	4,026,951

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,364,609	2,364,609
資本剰余金	2,113,414	2,113,414
利益剰余金	3,833,292	3,958,690
自己株式	△64,447	△64,518
株主資本合計	8,246,869	8,372,195
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,450	20,242
評価・換算差額等合計	17,450	20,242
純資産合計	8,264,320	8,392,438
負債純資産合計	11,973,200	12,419,389

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,882,901	7,675,883
売上原価	4,689,847	4,503,545
売上総利益	3,193,054	3,172,337
返品調整引当金繰入額	1,000	2,400
差引売上総利益	3,192,054	3,169,937
販売費及び一般管理費	2,714,151	2,770,052
営業利益	477,903	399,884
営業外収益		
受取利息	4,571	1,615
受取配当金	31,330	31,393
その他	20,442	14,056
営業外収益合計	56,343	47,064
営業外費用		
支払利息	96	94
寄付金	4,194	10,524
その他	2,705	1,381
営業外費用合計	6,995	12,000
経常利益	527,251	434,948
税引前四半期純利益	527,251	434,948
法人税等	250,000	238,000
四半期純利益	277,251	196,948

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医療機器	624,821	122,921	△501,899	△80.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	993,640	939,629	△54,010	△5.4
診断用薬	1,822,939	1,749,516	△73,422	△4.0
計	2,816,579	2,689,146	△127,433	△4.5
医療機器	244,115	493,373	249,257	102.1
その他	162,688	159,159	△3,529	△2.2
合計	3,223,384	3,341,679	118,295	3.7
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	678,371	616,965	△61,406	△9.1
消化器に作用する薬剤	69,546	77,227	7,680	11.0
保健栄養強壮剤	20,362	24,445	4,083	20.1
その他	20,207	20,637	429	2.1
小計	788,488	739,275	△49,213	△6.2
医薬部外品	561	280	△280	△50.0
その他	88,584	105,251	16,667	18.8
計	877,634	844,807	△32,826	△3.7
健康食品	337,746	269,617	△68,129	△20.2
合計	1,215,381	1,114,425	△100,955	△8.3
総合計	4,438,765	4,456,104	17,339	0.4

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 商品仕入総合計額のうち、堺化学工業(株)より次の通り仕入れております。

前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
3,109,489千円	2,943,775千円

- 4 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしております。

③ 販売実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	1,767,972	1,668,524	△99,447	△5.6
診断用薬	2,838,376	2,777,237	△61,139	△2.2
計	4,606,349	4,445,761	△160,587	△3.5
医療機器	996,206	1,103,202	106,995	10.7
その他	194,968	192,955	△2,013	△1.0
合計	5,797,524	5,741,919	△55,605	△1.0
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	1,322,749	1,256,588	△66,161	△5.0
消化器に作用する薬剤	88,586	93,374	4,787	5.4
保健栄養強壮剤	23,978	26,245	2,267	9.5
その他	51,863	41,095	△10,767	△20.8
小計	1,487,177	1,417,303	△69,874	△4.7
医薬部外品	1,114	902	△212	△19.0
その他	130,070	142,636	12,566	9.7
計	1,618,363	1,560,842	△57,520	△3.6
健康食品	467,013	373,120	△93,893	△20.1
合計	2,085,376	1,933,963	△151,413	△7.3
総合計	7,882,901	7,675,883	△207,018	△2.6

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

- 2 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしております。